

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |    |              |
|----------------|-------------|----|--------------|
| ○事業所名          | 愛の家キッズ(放デイ) |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 11月   | ~  | 2025年 12月    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 25 | (回答者数)<br>17 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 11月   | ~  | 2025年 12月    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 7  | (回答者数)<br>7  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月    |    |              |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること            | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|---|--|--|
| 1 | 子どもの活動スペースが十分に確保されている。<br>※より強化・充実を図ることが期待されること       | 晴れた日には庭で走ったりボール遊びや体作りを実施。室内ではみんなでボッチャなど室内ゲームを推進。庭では野菜栽培（水やりや収穫）を通した食育体験。 | 長期休暇とうを活用し、家族や他事業所等との交流できるレクリエーションを企画。野菜を植えるスペースを拡張し、こどもたちが、より主体的に収穫を楽しめる環境作り。 |
| 2 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされている。                      | 連絡帳や送迎時に口頭で「その日の様子」を丁寧に共有。<br>「いつもと違う変化」については即日報告を徹底。                    | 日々のコミュニケーションを積み重ね、保護者様とのより深い信頼関係を構築していく。                                       |
| 3 | 子どものことを十分理解しこどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画を作成されている。 | 職員間で常に子どもの様子を共有。<br>保護者様との面談や家庭での様子を反映させながら計画を作成。                        | 課題の解決だけでなく、「本人の得意なこと」を伸ばすことに重点を置き、自信に繋がる計画を作成・実行する。                            |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われる事<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われる事         | 事業所として考えている課題の要因等                      | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会がない。                | 平日の利用時間帯は時間的な制約が大きく、外部交流が難しい。          | 長期休暇等を利用し、地域のイベントへの参加や他団体との交流機会を検討する。                              |
| 2 | 父母の会、保護者会の開催により保護者同士の交流の機会又きょうだい向けのイベント等を設けていない。 | 平日は保護者様も仕事を持たれている方が多く、集まりの時間を設けることが困難。 | アンケートを実施し、ニーズの高い時間帯や内容を調査。<br>事業所参観やイベントの際に気軽に参加できる「茶話会」をセットで企画する。 |
| 3 | 家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。   | 平日の時間的制約により、保護者様が参加できる機会を創出できていない。     | 長期休暇を利用した「家族参加型イベント」を計画。<br>家庭で役立つ情報をの発信や個別相談しやすい体制を強化する。          |